

県議会報告

愛国心めぐり論戦

第2回 知事と教育長に絞る 定例会

六月五日から十六日までの十二日間の会期で開かれた平成十八年第二回定例会議会で、小川一成議員（守谷市選出）は、県政全般について論じる一般質問（二日目の九日に演壇に立ち、大別して①愛国心について②新県計画の財源措置について③国際貢献活動経験者の教員採用について④新規採用教職員に対する研修制度の改革について⑤教育現場におけるゼロトレランス（毅然とした対応）の導入について―の五項目に限定し、橋本昌知事と稲葉節生教育長の二

人だけに絞り、じっくり論戦を繰り広げました。今期三回目となったこの日は、六人が登壇した一般質問の最後を締めくくり、すっかりおなじみとなった「小川節」を展開し、改めて本県議会を代表する論客としての存在感を印象づけました。今回の『県議会報告』では、愛国心、国際貢献活動経験者の教員採用、教育現場におけるゼロトレランスの導入をめぐる論戦を採録するとともに、小川議員の最近の活動ぶりの一端も紹介します。

今期3回目の一般質問

県議会でも議員の「晴れ舞台」と言えば、本会議場で行われる代表質問と一般質問が挙げられます。その中でも、花形は論戦の最後を飾る「トリ」ですが、現在三回目の小川議員は今期、三回ともトリを任せられるなど、県議会で地歩を固めたと言えるでしょう。

議会人事でも、

今期は議会運営副委員長、土木委員長などの要職を歴任。自民党県連にあっては政調会副会長として政調会活動の活性化に努める一方、特に罰則強化を狙った県屋外広告物条例の改正案を、本県議会では初めて議員提案し、政策通として注目を集めるなど、次期が楽しみな存在になりました。

この日も、地元守谷市から約二百五十人の支持者らが小川議員の活躍ぶりを一目見ようと傍聴席を埋め、地元唯一の県議にエールを送っていました。

小川議員の場合、現代の日本人に欠けている基本的な哲学をメインテーマに、一般質問を展開しているのが特徴です。特に今期は、一回目の三年前には武士道を中心とした精神文化、二回目の昨年は歴史・国家観をめぐり、橋本知事と哲学論争を繰り広げ、話題となりました。

そして、今回はそうした流れを踏まえ、①で取り上

げたテーマは「愛国心」。いわゆる「三部作」の完結を図ったわけですが、小川議員は、学生時代に五十カ国以上を旅して歩いた体験や、アインシュタインの日本観、米国のケネディ大統領の有名な演説、藤原正彦著『国家の品格』などを引き合いに出しながら、愛国

生まれ育ったこの茨城をすべての県民が誇りに思えるような県にするために全力を尽くしていきたい」旨の決意を表明しました。

国際貢献活動経験者の教員採用にスポットを当てた③では、社会経験豊富な人材の教員採用を促すため、一般選考とは別に、優遇枠を導入して、政府開発援助を導

こうした採用枠は、京都市が平成十七年度から設けているほか、富山県と長野県も今年度から取り組むこともあって、稲葉教育長から「より優れた人材を確保できるような採用選考のあり方について、他県の例などを参考にしながら、引き続き検討していきたい」旨の答弁を引き出しました。

このように、一般質問では、時代を見据えたテーマをメインに取り上げてきたのが小川議員の特徴です。大半の議員が壇上から訴える地元のニーズは、日常の議員活動の中で十二分に対応しています。

実際に、地元では今期、懸案の国道294号乙子交差点の立体交差化事業が始まったり、市民の署名活動が県や県警を動かした南守谷地区への交番の新設、都市軸道路の「守谷トンネル」の開通など、数々の実績を上げており、期数を重ねた小川議員は今や、押しも押されぬ存在になった

というところでしょ。

着と誇りを持っています。

改めて存在感示す 論客らしく『3部作』完結

心に迫り、「知事は愛国者ですか」とズバリ切り込みました。

これに対し、知事は「愛国心について、きちんと考えるべき大事な時期に来て

識を示し、その上で、「郷土茨城や祖国日本に深い愛

体験など交えて迫る

先の戦争が他国では普通の心理 トラウマに

愛国心

小川議員 平成十五年第

四回定例会で、武士道を中心
に日本人の精神文化につ
いて、十七年の第一回定例
会では武士道を踏まえ、知
事の歴史観、国家観を尋ね
ました。これらの質問と答
弁を踏まえ、この度、愛国
心について尋ねます。

先の一般質問の折、百年
前の日露戦争を例に、明治
の先人たちの気概と愛国心
を忘れるな、国家としての
自信と誇りを取り戻せ、さ
らにはイギリスのサミュエ
ル・スマイルズの言葉を引
用し、国家の品格は先祖へ
の尊敬心に始まると述べた。
図らずも、その年の十一月、
藤原正彦著による『国家の
品格』が出版され、二百万
部を越すベストセラーとな
りました。そこには失って
久しい日本人の魂が書かれ
てあり、失ったものの一つ
に、国に対する誇りがあり
ます。

私は、ラオスで活躍して
いる青年海外協力隊員を訪
問した折、現地の政府高官
から「なぜ、日本人は他
国に誇りを持たないのか。
先の大戦の廃墟から立ち直
り、世界でも屈指の経済大
国になった日本は我々アジ
アの誇りです」と言われま

した。

いずれの国民も、皆それ
ぞれが自国を愛し、誇りに
思っている。国際的には当
たり前のことなのにもかか
らず、なぜ我々日本人は
愛国心を口にしないのか、
あまつさえ自虐的でさえあ
るのか。

アメリカでは、小学校で
星条旗と国歌に対する誇り
と忠誠心を徹底的に教え込
まれます。なぜ日本だけが、
愛国心という他国では何で
もない普通の民族心理に対
し、なぜかくも身構え、か
くも警戒し、かくも論争の
種になるのか。それは愛国
心という言葉に、軍国主義
のにおいをかぐからではな
いでしょうか。

しかし、愛国心イコール
軍国主義という連想は、よ
く考えてみれば妙な話です。
愛国心は、軍国主義とは関
係なく存在する心情です。
他の国々に普通に存在する
以上、日本にも存在して何
ら不思議ではありません。
独立国家なら当然のこと
ではないでしょうか。

しかし戦後、日本は、個
人の権利については嫌とい
うほど教え込んできた半面、
義務についてはほとんど教
えず、家族を守り、国を守
り、民族を愛する心につい
ては教えることさえ極力避
けてきたのではないでしょ

うか。

先の大戦がトラウマとなっ
て、口にするのはばから
れるような、そんないびつ
な時代が長く続いてきまし
た。ここにきてやっと、
国会でも教育基本法の改正
の論議が始まり、愛国心に
ついて国民の関心が高まっ
てきました。やっと、日本
も普通の国になりつつある
という感じがします。

考えてみると、日本はあ
る時期、極めて異常な国だっ
たのではないのでしょうか。
日本の常識が世界の非常識
と言われて久しいが、身近
な例を挙げれば、日本には
平成十一年に国旗及び国歌
に関する法律が制定される
まで、実に百数十年の間、
法的には国旗も国歌も存在
しなかったのです。従って、
私たちが学校で教えられた
のは、日の丸、君が代でし
た。それが当たり前と思っ
ていました。

私は機会があつて、大学
二年の時に一年間、世界を
旅してきました。世界の国々
を歩きながら、日本という
国を改めて見る機会を得ま
した。その時に訪れた五十
カ国以上の国々で、国旗、
国歌に敬意を払わないとい

う国家を、私は見たことが
なかったのです。
旅の行く先々で、たくさ
んの友人を得ましたが、彼
らの多くは、国を守るため
に兵士として一年半から二
年、当然の義務として兵役
に就いていました。愛国心
という大上段に構えたもの
こそ感じられませんでした
が、彼らは皆一様に、国を
守る気概にあふれていまし
た。と同時に、日本には兵
役の義務がないのかと、半
ばうらやましがられもしま
した。その時、自分に兵役
の義務がなくてよかったと
思う心の半面、彼らが自ら
守るべき祖国に自信と誇り
を持っていることに、一種
のジェラシーを感じたこと

きちんとして考える時期

自然な感情 誇り持てる県へ全力

橋本知事 愛国心という
言葉からは、軍国主義的な
印象を持たれる人も少なく
ありません。私と
しては、家族を愛する心、
生まれ育った地域や郷土を
愛する心と同じように、祖
国を愛する心はごく自然な
感情であり、素直にとらえ
ればよいのではないかと考
えています。

恐らく、日本人の多くが
そうだと思いますが、海外
から帰って来ると、日本の
風土や文化など日本のよさ
を改めて感じますし、先般
行われた野球のWBCや、

たのではないのでしょうか。
日本の常識が世界の非常識
と言われて久しいが、身近
な例を挙げれば、日本には
平成十一年に国旗及び国歌
に関する法律が制定される
まで、実に百数十年の間、
法的には国旗も国歌も存在
しなかったのです。従って、
私たちが学校で教えられた
のは、日の丸、君が代でし
た。それが当たり前と思っ
ていました。

私は機会があつて、大学
二年の時に一年間、世界を
旅してきました。世界の国々
を歩きながら、日本という
国を改めて見る機会を得ま
した。その時に訪れた五十
カ国以上の国々で、国旗、
国歌に敬意を払わないとい

きちんと考える時期

自然な感情 誇り持てる県へ全力

サッカーのW杯などでも、
自然と日本の応援に力が入
ります。そして日本が勝れ
れば、だれもがうれしく感
じているのではないかなと
思います。

このように、国や郷土を
愛する気持ちというものは、
多くの日本人の根底に脈々
と受け継がれていると考え
ています。

し、強く心を打たれ、次の
ように述べています。
「日本人は、その国土と
その国民を愛している。恐
らく、日本人ほど愛国心の
強い国民はほかにないであ
ろう」。さらに、「日本人精
神の純粋さと穏やかさ、こ
れらの偉大な価値を保持す
ることを日本人は忘れない
でほしい」と望んだのです。
今は薄れたとはいえ、こん
な素晴らしい精神を育てた
日本に生まれたことに、大
きな誇りと感謝の念を持つ
者の一人です。

しかし今日、世界でもま
れに見る物質的には豊かな
社会を享受しながら、日本
のリーダーたるべき人の中
には、「私は愛国心があり
ます」といふ人が少なく、
愛国心という言葉を口にす
る人が減っているように感
じます。

きちんと考える時期

自然な感情 誇り持てる県へ全力

また近年、グローバル化
が急速に進展しています。
例えば、大相撲でさえ国際
化が進み、国技館でも「日
本頑張れ」という声援が飛
んだと聞いています。

このような国際社会の中
で、名誉ある地位を得、信
頼されるためにはまず、そ
れぞれの国の歴史や文化を
認め合うことが必要です。
そのためには自分の国や地
域をきちんと知り、それ
に対し誇りを持つことがま
まず大切になってきます。

たが、先人から受け継いで
きた歴史や文化、伝統を、
今日の日本人の心にもしっ
かりと育み、次の世代へ引
き継いでいくためにも、愛
国心ということについて、
きちんとして考えるべき大事
な時期に来ているのではない
かと認識しています。

「一事は愛国者ですか」
とのお尋ねがありました。が、
郷土茨城や祖国日本に深い
愛着と誇りを持っています。
幕末から明治維新にかけて
の水戸藩の先人たちは、祖
国や郷土を愛し、情熱をか
けて国づくりに取り組んで
きました。私も先人たちを
見習い、郷土や祖国を愛す
る者の一人として、生まれ
育ったこの茨城をすべての
県民が誇りに思えるよう
な県にするために全力を尽
くしていきたい。



守谷市から駆けつけた支持者ら

「優遇枠」導入を提案

途上国で活動の青年海外協力隊 教師の条件満たす人材

国際貢献活動経験者の教員採用

国際貢献活動の経験者に注目しています。

日本の国際貢献活動を代表するものに青年海外協力隊制度があります。政府開発援助、いわゆるODAの一環として、二十歳から三十九歳までの若者を、主に途上国である世界約八十八カ国に派遣し、多岐にわたる分野で任地の発展のため、現地の人たちと協力しながら活動して行く制度です。

青年海外協力隊は昭和四十年に発足し、これまで約二万八千人の隊員が派遣され、本県からも延べ五百人が派遣され、現在でも世界三十八カ国に五十五人の隊員が活躍しています。

途上国の多くは、日本に居ては想像もつかないような世界であり、隊員の多くは下痢やマラリア、風土病

と闘いながら、電気もガスもない、水道もない土地で、現地の人と同じ目線で生活をし、まさに泥水をすすりながら、その国の国づくり

に貴重な汗を流しているわけですから、そのような経験を、一回りも二回りも大きくなって帰国して

くるのです。そんな彼らを持つ能力は計り知れないものがあり、単に学校での成績がよかつたという人ではない、人間としてたくましく、力強い魅力に富んだ人材です。彼らの能力は、学校という教師の全人的な能力が問われる場で活用されるのが、



医療検査技師の指導をしている青年海外協力隊員（右端）＝ラオス・ビエンチャンで

さわしいのではないかと考えます。青年海外協力隊の存在は、本県の教育が求める、国際社会に貢献できる児童生徒の育成という観点からも貴重なものであり、ぜひ活用を図るべきです。

さらに、県にとっては、技術はもとより、既に語学や国際貢献などの実践的な力を身に付けた教員を確保できることは、優秀な教員の採用上も有意義なことです。

既に本県では現在、国立と公立学校の教員が身分を保持したまま青年海外協力隊へ参加するための現職教員特別参加制度があり、この制度と合わせれば、より活用の幅が広がるのではないかと考えます。

他の団体でも、京都市では教員の採用枠として、平成十七年度に五人の帰国者を採用し、十八年度は十人を採用したと聞いています。さらに、富山県と長野県で

も、今年から国際貢献経験者枠での採用選考を行うことを公表しています。そこで、本県でも、このような制度の導入により、

他県の例参考に検討

稲葉教育長 教員採用選考試験ではこれまで、人物重視の視点から個人面接、集団討論、小論文試験等で改善を行ってきました。特に個人面接では、民間企業の人事担当者を面接員に加え、人物をより多面的に評価するよう努めています。

一方、近い将来、教員の大量退職が見込まれることから、安定的に質の高い教員を確保することが課題となってきました。

このような点を踏まえ、様々な角度から採用選考の工夫、改善を進めることが必要と考え、平成十七年度

に庁内に教員採用選考試験の在り方検討委員会を設置し、試験方法、内容の今後のある方について検討を進めているところです。

今年度は、採用選考試験の募集要項の中に、本県の求める教師像を五項目提示しました。一つには教育者としての資質、能力に優れた人間性豊かな教師、二つには使命感に燃え、やる気と情熱を持って教育に当たることが出来る活力に満ちた教師、三つには広い教養を身に付け、子供とともに積極的に教育活動のできる指導力のある教師、四つに

国際感覚に富み、人間性豊かな、能力にあふれた国際貢献活動経験者の採用を進めるべきと考えますが、所見を尋ねます。

は子供が好きで、子供ともにも考え、子供の気持ちを理解できる教師、そして五つには心身ともに健康で、明るく積極的な教師、この五つを示して、本県にふさわしい教員の確保に努めています。

今後の教員の採用では、採用選考の方法について適宜、見直しを図りながら、幅広い経歴や特定の資格等を持つなど、より優れた人材を確保できるように必要があると考えています。

なお、教員の採用では、全受験者に公平性を確保する点を考慮しつつ、提案の青年海外協力隊等の国際貢献活動経験者も含め、多様な経歴を持った方々の採用方法等、よりよい人材を確保できるように採用選考のあり方について、他県の例などを参考にしながら、引き続き検討していきたい。

全日本大学女子選抜駅伝

埼玉県で開かれてきた日本学生陸上競技連合（学連、保利耕輔会長）主催の「全日本大学女子選抜駅伝」が来年一月八日、つくば市で開催されることが正式に決まり、橋本昌知事ら本県関係者は「本県を全国にPRしていきたい」と、駅伝本番に大きな期待を寄せています。

今回の全国規模のイベント誘致は、六月十二日に開かれた第二回定例会での文教治安委員会で、小川一成

委員が「茨城をPRする願ってもないチャンス。埼玉県は巻き返しに躍起になっていて、総力を挙げて誘致すべきではないか」と要請したのがきっかけでした。

初の「全国規模」誘致

つくばで 小川県議がきっかけ

この駅伝は、平成十六年二月から埼玉県で始まり、埼玉県庁（さいたま市）から上尾運動公園（上尾市）までの三十キロ、六区間を

二十チームが競うもので、同県の土屋義彦前知事が誘致した経緯があります。ところが、埼玉県警から昨年夏、警備上の問題など

主催に名を連ねるテレビ東京が全国に生中継するのをはじめ、国際的な競争力のある女子のマラソンや駅伝は注目度が高いことなど

から他県開催を促されたのを契機に、学連では今年三月の理事会で、代替候補地としてつくば市を決め、市原健一同市長に打診をしていました。

もあり、情報をキャッチした広島や名古屋などが名乗りを上げていました。しかし、つくば市は当初から、もろ手を挙げて賛成というわけではありません

でした。埼玉県同様、警備上の問題などが懸念されていたからです。

この間、開催地変更を伝えられた埼玉県側では、知事が学連に謝罪した上で継続を強力に要請したり、選抜大学を通じて「変更されないと、過去三年の記録が無くなってしまふ」といった働きかけまで行うなど、県を挙げて巻き返しを図っていました。

本県は、小川議員の要請があるまで、こうした状況

を把握していませんでしたが、即座に橋本知事や川俣勝慶副知事らが学連に保利会長を訪ね、精力的に誘致を働きかけ、本県開催を実現させたわけでした。

小川議員は「要請を受けて、知事もすぐにフットワークよく、二回も積極的につくば開催に動いたことが学連の保利会長を動かしたようです。約二時間、駅伝を通して茨城県が放映されま

すから、これ以上のイベントはないでしょう」と、今回の誘致劇を振り返っています。

ヤジ一喝

「あなたに聞いているんじゃない」。愛国心をめぐる質問中、執拗にヤジが飛び、小川一成議員は、演壇からヤジの主を指差して一喝しました。

その主は小川議員に限らず、大半の質問に対し、何かとヤジを飛ばす他党派の議員です。県議会にはかつて「ヤジ将軍」の異名を取った自民党のベテラン議員がいました。風刺の効いたユーモアたっぷりのヤジは、議場の笑いを誘ったのですが、戒められたヤジは単刀直入の、品

格が問われるような耳ざわりなものでした。一喝以降、シュンとなった主。「その後はすっかりおとなしくなりました」。政策通と知られる論客らしく、ヤジを計算に入れて一発「喝」を入れたわけですが、萎縮してしまふ一年生議員も少なくないための、先輩議員からの援護射撃の意味合いもありました。

今回もトリを任されたので、主が反省したかどうかは不明とあって、九月の第三回定例会が楽しみ？

教育現場におけるゼロトレランスの導入

小川議員 ゼロトレランスとは、毅然とした対応という意味で、一九九七年にクリントン大統領が全米に呼びかけ、浸透させたものです。その内容は、学校が明確な罰則規定を定めた行動規範を生徒や保護者に示し、破った生徒には直ちに責任を取らせるもので、それまで教育現場で支配的だった、生徒の事情をよく聞き、生徒管理に重点を置いて指導するガイダンスと呼ばれる手法とは一線を画し、絶対に許容しない厳格さで臨むというものです。

教師は、教育現場で寛容の名の下に、あいまいな指導をしない、決してふれない、毅然とした対応を取ることで、これは学校の荒廃を防ぎ、秩序を取り戻すための有力な方策であり、学校本来の姿を取り戻し、他の生徒の学ぶ権利を保障することができるようになります。

この制度の導入に当たり、最も重要なことは、学校と家庭が価値観を共有することであり、入学後の早い時期にPTAの協力を得て、生徒と保護者、地域社会が一体となって取り組み、ルールを明示し、理解を得ることが肝要だと思います。

してはいけないことはいかならないという毅然とした粘り強い指導が必要であり、あいさつや服装、時間の厳守や授業中の私語の禁止など、当たり前のことを当たり前にさせることが求められます。入学前に親がしっかりとおこななければならないことと、子供には生まれた時から、世の中には理屈抜きで守らなければならないルールもあるということをおこなってやらないでください。

本県では平成十三年から、だめなこと、だめなことの教育を進めていますが、毅然とした対応を取ることが今こそ求められているのではないのでしょうか。

国では、文部科学省が報告書を公表し、児童生徒の規範意識の醸成を目指す対策を明らかにしています。

でも早急にプロジェクトチームを立ち上げ、本県の教育方針はこれだという次の対応をいち早く取るべきです。そこで、教育現場における毅然とした対応、ゼロトレランスを導入すべきと考えますが、所見を尋ねます。

稲葉教育長 当たり前のことを当たり前にできるよ

うに育てていくことについては、家庭でのしつけはもちろん、学校教育でも大変重要と認識しています。また、小・中・高等学校では生徒指導での毅然とした対応は大変大切と考えます。

このため、県教育委員会では昨年度から、保育所、幼稚園、小中学校、高等学校がそれぞれに子供の発達段階に応じて、基本的な生活習慣や規範意識、マナーを身に付けさせる「みんないっしょにマナーアップ推進事業」を実施しています。

この事業では、各学校であいさつ運動やマナーアップキャンペーンを実施するに当たり、PTAにも協力していただくなどして、保護者と価値観を共有しながら家庭、地域と一体になって取り組むに努めているところですが、生徒指導上の問題行動への対応については、これまででも学校教育指導方針で、だめなことはだめな指導の徹底を示すとともに、今年すべての教員に配布した生徒指導の手引でも、生徒指導の方針や児童生徒の状況について、保護者や地域社会に十分な説明を行うこと、児童生徒の問題行動や家庭的な問題に対し、学校から関係機関に相談したり協力することを問題の解決に努めることなどを取り上げ、各々での指導の充実を図っています。

しかし、暴力行為やいじめなど、児童生徒の問題行動への対応に苦慮している学校もあり、生徒指導の更なる充実が必要と考えています。

文部科学省から出された報告書では、ゼロトレランス方式にも取り上げられている段階的指導等の方法を参考とするなどして、体系的で一貫した指導方法の確立に努めること、また家庭や地域レベルでの児童生徒の規律ある態度や規範意識の育成に向けての指導、あるいはしつけとの連携の確保にも配慮すること、そして学校や社会の決まり、ルールを守ることの意義、重要性について、学級活動、ホームルーム活動や道徳で繰り返し指導することなどが示されています。

今後、県教委としては、マナーアップ推進事業を通して、学校、家庭、地域の連携の充実を図るとともに、これまでの生徒指導の取り組みや文科省からの通知を踏まえ、PTAなど関係機関、団体の代表者を構成メンバーとする県生徒指導推進協議会で、毅然とした対応による生徒指導の新たな方針等について検討していく所存です。

一昨年十二月に着工した守谷市の国道294号乙子交差点立体化事業は、平成二十年秋ごろの完成を目指して、工事が順調に進められています。

乙子交差点は、国道294号と県道守谷流山線、市道郷州戸頭線が平面で交差し、慢性的に交通渋滞が発生しています。同交差点の南側の県道は新大根橋有料道路で千葉県柏市に通じており、北側の市道はみずき野団地内の主要道路となっています。

この立体化事業は、国道294号を四車線に拡幅する事業の一環として実施されています。断面的に見ると、上層に国道、中層に歩行者・自転車などが通る空間が設けられ、下層で県道と市道が平面交差しますが、

市道は、国道と平行して走る関東鉄道常総線の下をくぐります。

このように大規模な事業とあって、着工は長い間の懸案でしたが、つくばエクスプレス(TX)の開業に伴い、近くに守谷駅が開設されたのと、守谷市唯一の県議、小川一成氏の強力な働き掛けもあり、待望の着工を見たわけです。

総事業費は約五十二億円

市道は、国道と平行して走る関東鉄道常総線の下をくぐります。

このように大規模な事業とあって、着工は長い間の懸案でしたが、つくばエクスプレス(TX)の開業に伴い、近くに守谷駅が開設されたのと、守谷市唯一の県議、小川一成氏の強力な働き掛けもあり、待望の着工を見たわけです。

総事業費は約五十二億円

で、平成十七年度までに約八億円が投じられ、橋梁下部工、歩道橋工などが行われており、本年度は約十三億円で引き続き工事が進められています。現在は国道部の工事のみですが、間もなく県道部、市道部の工事も始まります。

小川議員は、県に限らず、国や市も厳しい財政状況下にあることから、予算確保に努めると

ともに、日々の議員活動の中で、事業の円滑な推進を関係部署に働きかけています。

とも、日々の議員活動の中で、事業の円滑な推進を関係部署に働きかけています。

とも、日々の議員活動の中で、事業の円滑な推進を関係部署に働きかけています。

とも、日々の議員活動の中で、事業の円滑な推進を関係部署に働きかけています。

いち早く次の対応を

学校と家庭が価値観共有 生徒指導推進協で検討へ

この事業では、各学校であいさつ運動やマナーアップキャンペーンを実施するに当たり、PTAにも協力していただくなどして、保護者と価値観を共有しながら家庭、地域と一体になって取り組むに努めているところですが、生徒指導上の問題行動への対応については、これまででも学校教育指導方針で、だめなことはだめな指導の徹底を示すとともに、今年すべての教員に配布した生徒指導の手引でも、生徒指導の方針や児童生徒の状況について、保護者や地域社会に十分な説明を行うこと、児童生徒の問題行動や家庭的な問題に対し、学校から関係機関に相談したり協力することを問題の解決に努めることなどを取り上げ、各々での指導の充実を図っています。

しかし、暴力行為やいじめなど、児童生徒の問題行動への対応に苦慮している学校もあり、生徒指導の更なる充実が必要と考えています。

文部科学省から出された報告書では、ゼロトレランス方式にも取り上げられている段階的指導等の方法を参考とするなどして、体系的で一貫した指導方法の確立に努めること、また家庭や地域レベルでの児童生徒の規律ある態度や規範意識の育成に向けての指導、あるいはしつけとの連携の確保にも配慮すること、そして学校や社会の決まり、ルールを守ることの意義、重要性について、学級活動、ホームルーム活動や道徳で繰り返し指導することなどが示されています。

今後、県教委としては、マナーアップ推進事業を通して、学校、家庭、地域の連携の充実を図るとともに、これまでの生徒指導の取り組みや文科省からの通知を踏まえ、PTAなど関係機関、団体の代表者を構成メンバーとする県生徒指導推進協議会で、毅然とした対応による生徒指導の新たな方針等について検討していく所存です。

一昨年十二月に着工した守谷市の国道294号乙子交差点立体化事業は、平成二十年秋ごろの完成を目指して、工事が順調に進められています。

乙子交差点は、国道294号と県道守谷流山線、市道郷州戸頭線が平面で交差し、慢性的に交通渋滞が発生しています。同交差点の南側の県道は新大根橋有料道路で千葉県柏市に通じており、北側の市道はみずき野団地内の主要道路となっています。

この立体化事業は、国道294号を四車線に拡幅する事業の一環として実施されています。断面的に見ると、上層に国道、中層に歩行者・自転車などが通る空間が設けられ、下層で県道と市道が平面交差しますが、

市道は、国道と平行して走る関東鉄道常総線の下をくぐります。

このように大規模な事業とあって、着工は長い間の懸案でしたが、つくばエクスプレス(TX)の開業に伴い、近くに守谷駅が開設されたのと、守谷市唯一の県議、小川一成氏の強力な働き掛けもあり、待望の着工を見たわけです。

総事業費は約五十二億円

市道は、国道と平行して走る関東鉄道常総線の下をくぐります。

このように大規模な事業とあって、着工は長い間の懸案でしたが、つくばエクスプレス(TX)の開業に伴い、近くに守谷駅が開設されたのと、守谷市唯一の県議、小川一成氏の強力な働き掛けもあり、待望の着工を見たわけです。

総事業費は約五十二億円

で、平成十七年度までに約八億円が投じられ、橋梁下部工、歩道橋工などが行われており、本年度は約十三億円で引き続き工事が進められています。現在は国道部の工事のみですが、間もなく県道部、市道部の工事も始まります。

小川議員は、県に限らず、国や市も厳しい財政状況下にあることから、予算確保に努めると

とも、日々の議員活動の中で、事業の円滑な推進を関係部署に働きかけています。

とも、日々の議員活動の中で、事業の円滑な推進を関係部署に働きかけています。

とも、日々の議員活動の中で、事業の円滑な推進を関係部署に働きかけています。



昨年8月に開通した守谷トンネル下り線

守谷トンネル 上り線

8月28日に開通

駅周辺の渋滞緩和へ

つくばエクスプレスと並行して走る都市軌道道路のうち、守谷駅周辺の「守谷トンネル」の上り線が、八月二十八日午後四時三十分の開通することになりました。

当日は、開通式も行われる予定です。

都市軌道道路は、つく

この立体化事業は、国道294号を四車線に拡幅する事業の一環として実施されています。断面的に見ると、上層に国道、中層に歩行者・自転車などが通る空間が設けられ、下層で県道と市道が平面交差しますが、

市道は、国道と平行して走る関東鉄道常総線の下をくぐります。

このように大規模な事業とあって、着工は長い間の懸案でしたが、つくばエクスプレス(TX)の開業に伴い、近くに守谷駅が開設されたのと、守谷市唯一の県議、小川一成氏の強力な働き掛けもあり、待望の着工を見たわけです。

総事業費は約五十二億円

で、平成十七年度までに約八億円が投じられ、橋梁下部工、歩道橋工などが行われており、本年度は約十三億円で引き続き工事が進められています。現在は国道部の工事のみですが、間もなく県道部、市道部の工事も始まります。

小川議員は、県に限らず、国や市も厳しい財政状況下にあることから、予算確保に努めると



順調に進む乙子交差点の立体化工事